

環境技術研究所ニュース：

環境技術研究所が四日市市内の海蔵川および上流の竹谷川を調査

2019年6月11日（火）の午前中に武本名誉教授と高橋元教授らの環境技術研究所が海蔵川の本支流と上流の竹谷川・大口川を調査しました。この調査は環境技術研究所の調査研究の一環として行われています。午前中は快晴で、気温も温かくよい調査日和でした。調査が終わる頃には、天候が急変し少し雨が降りました。

海蔵川は7年ほど前から下流と中流で継続調査しており、数年前調査依頼があった上流側の本流と竹谷川・大口川も追加して行われています。海蔵川上流菰野町の大口川にある養豚場や市の県地区の竹谷川上流の養豚場からの排水が本水系の汚染を起こしていることから、県地区市民センターの安田新館長や「竹谷川の蛍と桜を守る会」の下村氏らと共同で調査実施中です。

この県地区では、高濃度の畜産排水有機汚濁のため、蛍が減少したり、稲作が被害を受け、対策が急がれています。夏には稲が倒伏する被害がでており、かつ水田は富栄養の状態になっているそうです。窒素分は依然として高濃度でした。三重用水からの導水できれいにする計画も議論されています。大口川のある菰野町では、数億円を投じてこの大口川の支流を河川改修する工事中でした。またこの川に排水を流している養豚場も県の補助も含めて数千万円をかけて排水処理工事に着手するそうで、環境改善の動きが活発化しています。われわれの水質調査も県や市を動かすのに役立ったそうです。



海蔵川支流の部田川上流部：東芝半導体工場の西側付近



竹谷川支流の用水路で守る会の皆さんと採水作業



大口川周辺の養豚場付近の用水路改修工事



大口川の上流部の用水路(雅農場そば)での打合せ



大口川の下流部では窒素やリンが高濃度で赤虫発生